

## 心理学部学科科目

## 心理学科

## 基幹科目

心理支援論1A	2(必)	心理支援論1B	2(必)
心理支援論2A	2(必)	心理支援論2B	2(必)
心理支援論3	2(必)		
心理支援論(総合)A	2(必)	心理支援論(総合)B	2(必)

## 基礎科目

心理学1A(生理・比較・学習)	2(必)		
心理学1B(知覚・記憶・思考)	2(必)		
心理学2A(動機づけ・感情・欲求)		2(必)	
心理学2B(発達・人格)	2(必)		
心理学3A(教育・障害)	2(必)		
心理学3B(臨床・カウンセリング)	2(必)		
心理学4A(総論・社会)	2(選必)		
心理学4B(総論・心理学史)	2(選必)		
心理学研究法	2(必)	基礎統計学	2(必)
心理学基礎実験	2(必)		
社会調査法	2(必)	心理統計法	2(必)
社会学概論A	2	社会学概論B	2
社会福祉学概論A	2	社会福祉学概論B	2
尺度構成法	2	教育心理学	2

注 (必)印は必修科目とする。

(選必)印は選択必修科目とする。

## 専門科目

## 講義科目

## 基礎系専門科目

認知・行動心理学1(生理心理学)	2		
認知・行動心理学2(学習心理学)	2		
認知・行動心理学3(認知心理学)	2		
生涯発達心理学1(子ども)	2		
生涯発達心理学2(思春期・青年期)	2		
生涯発達心理学3(成人・老年)	2		
社会心理学1(集団過程)	2		
社会心理学2(社会認知)	2		
社会心理学3(産業・組織心理学)	2		
社会心理学4(現代社会と心理)	2		
パーソナリティ心理学	2		
心理学英語講読 A	2	心理学英語講読 B	2

## 障害児・者系専門科目

特別支援教育学総論A	2	特別支援教育学総論B	2
知的障害の病理	2	病弱の心理・生理・病理	2
病弱教育総論	2	肢体不自由の生理と病理	2

肢体不自由者の心理	2	肢体不自由者教育論	2
障害児教育学特講1(教育課程)		2	
障害児教育学特講2(指導法)	2		
知的障害教育学総論	2	視覚障害教育総論	2
聴覚障害教育総論	2		
障害児・者心理学1(コミュニケーション)		2	
障害児・者心理学2(行動)	2		
障害児・者心理学3(学習)	2		
障害児教育相談とアセスメント	2		

#### 臨床系専門科目

カウンセリング心理学1(スクールカウンセリング)		2	
カウンセリング心理学2(コミュニティカウンセリング)		2	
カウンセリング心理学3(キャリアカウンセリング)		2	
カウンセリング心理学4(非行・矯正カウンセリング)		2	
カウンセリング心理学5(ヒューマニスティックアプローチ)		2	
臨床心理学1(心理アセスメント)	2		
臨床心理学2(精神分析療法)	2		
臨床心理学3(家族心理学)	2		
臨床心理学4(集団療法)	2		
臨床心理学5(臨床動作学)	2		
臨床心理学6(健康心理学)	2		
臨床心理学7(認知行動療法)	2		
学校心理学	2		
精神医学	2		
犯罪心理学	2		

#### 実習科目

臨床心理実習A	1	臨床心理実習B	1
障害児基礎実習A	2	障害児基礎実習B	2
障害児実習A	2	障害児実習B	2
特別支援学校教育実習	3		

#### 演習科目

演習1	2	演習2	2
-----	---	-----	---

#### 卒業論文

卒業論文	6		
------	---	--	--

#### 教職関連科目

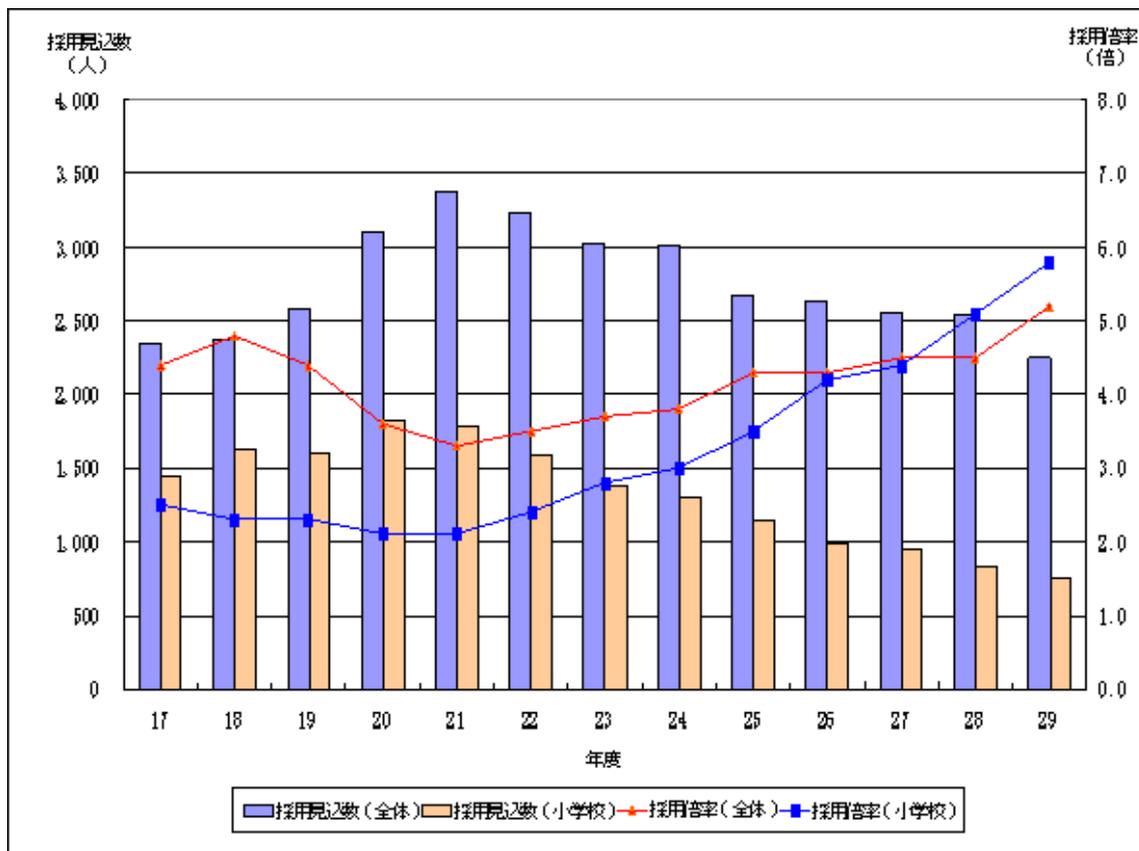
日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
憲法A	2	憲法B	2
民法A	2	民法B	2
現代政治理論A	2	現代政治理論B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2

哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
家族社会学	2		
労働法A	2	労働法B	2

卒業要件:以下の3項目、合計124単位を取得しなければならない。

1. 明治学院共通科目 24単位  
(キリスト教基本科目4単位・外国語科目8単位・情報処理基本科目2単位を含む)
  2. 学科科目 70単位 (必修38単位・選択32単位)
  3. フリーゾーン 30単位
- 合計 124単位

## 採用見込数・採用倍率の推移



※採用倍率は、採用見込数に対する受験者数を平成18年度選考における実績数（全体：10,321人、小学校：3,292人）のまま推移すると仮定して算出している。

※特別選考に関する採用数は採用倍率から除外している。

[出典：「これからの教員選考・任用制度について（中間のまとめ）」、  
平成18年1月、教員任用制度あり方検討委員会（東京都）]

著作権者の許諾が得られない書類

1. (書類等の題名)

小中教員採用 各10人増 さいたま市 団塊世代 大量退職で【資料3】

2. (出典)

東京新聞

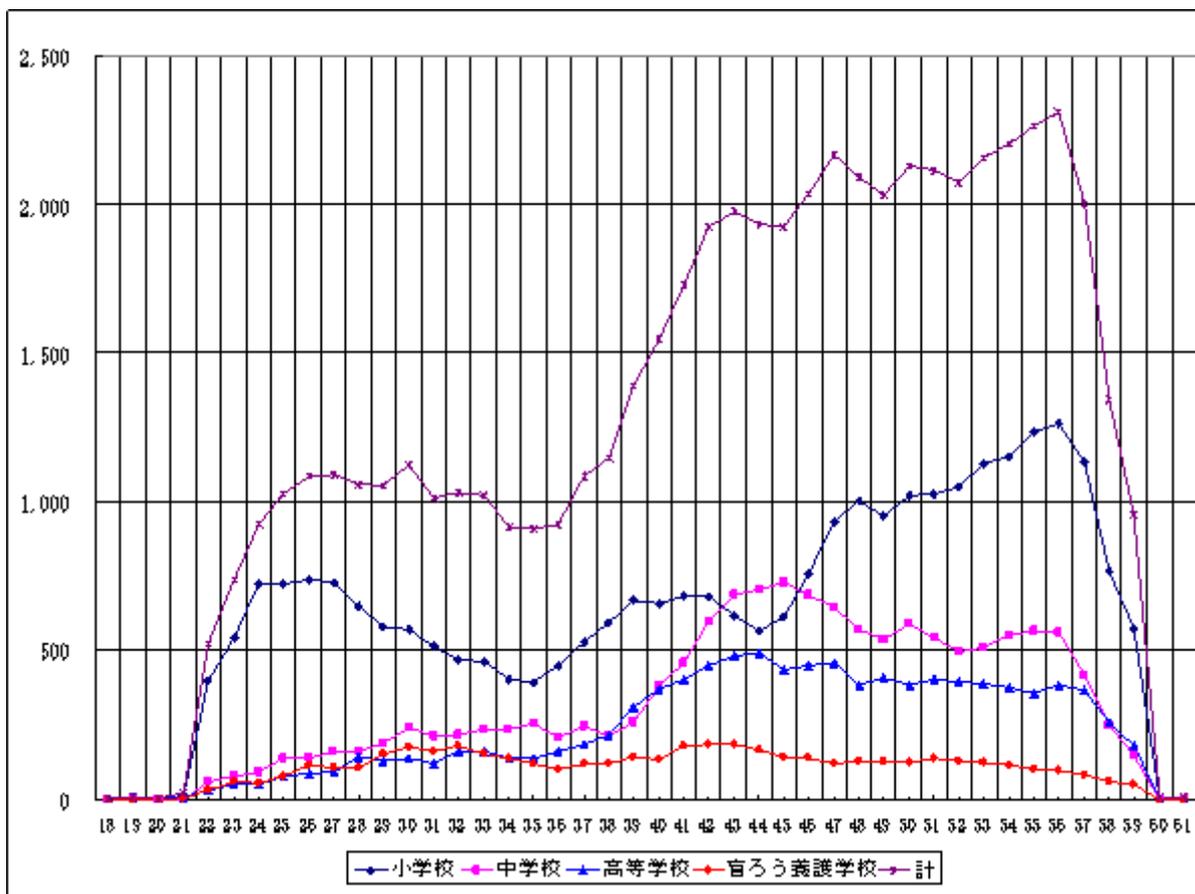
検索サービス：日本経済新聞デジタルメディア「日経テレコン21」

3. (引用範囲)

東京新聞朝刊(2009年4月9日付) 地方版(埼玉中央版) 20ページ

「小中教員採用 各10人増 さいたま市 団塊世代 大量退職で」記事全文

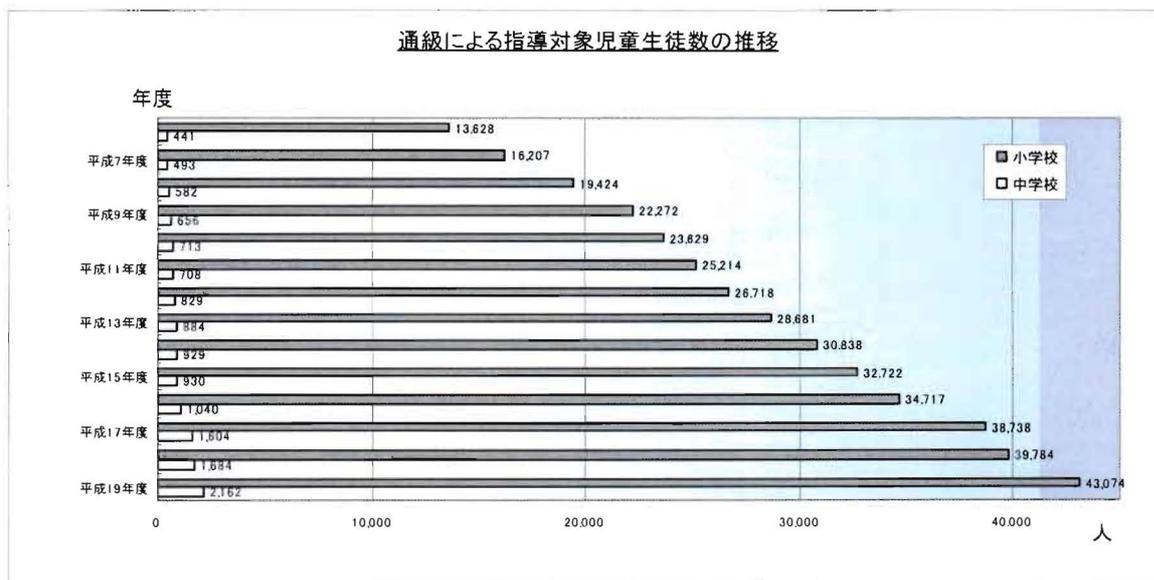
東京都公立学校教員年齢分布（公立学校統計調査：平成17年5月1日現在）



[出典：「これからの教員選考・任用制度について（中間のまとめ）」，  
平成18年1月，教員任用制度あり方検討委員会（東京都）]

## 通級による指導の現状

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態である。通級の対象は、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、弱視、難聴などである。



(平成19年5月1日現在)

区分	小学校				中学校				合計			
	自校 通級	他校 通級	巡回 指導		自校 通級	他校 通級	巡回 指導		自校 通級	他校 通級	巡回 指導	
言語障害	29,134	10,963	17,531	640	206	69	118	19	29,340 (64.9%)	11,032	17,649	659
自閉症	4,974	1,483	3,419	72	494	174	307	13	5,468 (12.1%)	1,657	3,726	85
情緒障害	2,628	955	1,610	63	569	170	392	7	3,197 (7.1%)	1,125	2,002	70
弱視	134	14	110	10	21	3	18	—	155 (0.3%)	17	128	10
難聴	1,618	292	1,201	125	305	76	187	42	1,923 (4.3%)	368	1,388	167
学習障害	2,153	1,405	705	43	329	208	101	20	2,482 (5.5%)	1,613	806	63
注意欠陥 多動性障害	2,406	1,030	1,327	49	230	113	114	3	2,636 (5.8%)	1,143	1,441	52
肢体不自由	11	10	1	—	—	—	—	—	11 (0.02%)	10	1	—
病弱・ 身体虚弱	16	7	9	—	8	2	6	—	24 (0.05%)	9	15	—
計	43,074 (95.2%)	16,159	25,913	1,002	2,162 (4.8%)	815	1,243	104	45,236 (100.0%)	16,974 (37.5%)	27,156 (60.0%)	1,106 (2.4%)